

いなざわ 議会だより

No. 211

8月号
2026年

TOPICS

議会報告会を開催しました……	2
臨時会・定例会の報告……	6
議決結果……	7
質疑・一般質問……	8
表彰報告……	15
視察受け入れ実績……	15
9月定例会開催予定……	16

稲沢市議会

検索



表紙：稲沢夏まつり

議会報告会を開催しました！



5月23日（土）に「議会報告会」を開催しました。今回、初めての試みとして、稲沢市役所（議場及び委員会室）で開催しました。

ここでは、議会報告会の様子をご紹介します。各常任委員会のまとめ及び当日実施したアンケートの集計結果につきましては、4～5ページをご覧ください。

なお、当日使用した資料及び報告書（各常任委員会のまとめ）につきましては、市議会のホームページ（右記二次元コード）からご覧いただけます。



※稲沢市議会
ホームページ

沢山の皆様のご参加ありがとうございました！



第1部 報告会

各常任委員会から、3月定例会において議決した令和8年度の主な新規・拡充事業の概要及び各委員会における主な関係議案について紹介をしました。また、1月に実施した行政視察の概要や得られた知見を報告しました。



第2部 意見交換会

各常任委員会に分かれ、それぞれの委員会で設定したテーマに沿って意見を交わしました。議員を含め、市民の方と輪になるように席を配置することで円滑な意見交換ができました。

以下、意見交換会でいただいた主なご意見を紹介します。



総務委員会

テーマ：利用しやすい市役所について～愛される市役所～

- ・コミュニティバス（接続便）は予約が取りにくく、利用しづらい。
- ・タクシー運転手不足の影響もあり、「おでかけタクシー」は利用機会を公平にするため利用回数の上限設定が必要だ。
- ・平日に市役所へ行けない人のため、駅などで行政サービスを受けられる窓口があると良い。
- ・投票率向上のため、高齢者向け駐車場の整備や投票所環境（空調設備など）の改善をして欲しい。



文教厚生委員会

テーマ：孤立を生まない地域づくりについて

- ・自治会や老人会など地域団体の担い手不足が深刻化しており、地域コミュニティの維持が困難になっている。
- ・「認知症カフェ」は、名称や補助制度が利用者を限定している印象があり、誰でも参加しやすい仕組みへ見直して欲しい。
- ・地域コミュニティの維持は防災にも重要であり、災害時の避難を促す工夫やIT技術の活用を検討して欲しい。



経済建設委員会

テーマ：未来につながるまちづくりについて

- ・国府宮駅周辺は市の玄関口として再整備を進め、駅前のにぎわいや回遊性を高めて欲しい。
- ・市役所周辺などを活用し、地域資源や特産品を発信できる「道の駅」のような拠点を整備して欲しい。
- ・身近な公園への防災トイレの整備などを検討して欲しい。
- ・サリオパーク祖父江や稲沢公園、桜ネックレスなどの観光資源をさらに活用して欲しい。



第2部 意見交換会のまとめ

総務委員会

市民が利用しやすい市役所を目指し、総務委員会が関わる多岐にわたる分野について意見交換会を開催しました。働き方改革による開庁時間の短縮や住民票などのコンビニ交付の開始が共有されました。後者には利便性を評価する一方、マイナンバーカード携帯への不安もありました。また、窓口のワンストップ化や職員の応対向上は評価されましたが、庁舎の構造的動線の不便さや、食堂の閉店による不満が指摘されました。

地域交通のコミュニティバスの路線削減や接続便の予約困難の予約方法の周知不足、乗務員不足が課題とされました。

自治会運営では役員のなり手不足や負担の不公平感が露呈している点や、単身高齢者のゴミ出し支援など生活課題への不安があることが浮き彫りになりました。

選挙については、商業施設での期日前投票の利便性が好評な一方、一部投票所のバリアフリー化やエアコン設置などの環境について要望が出ました。

公共施設では、民間委託先の確保難による2026年度の学校プール閉鎖の決定プロセスが不透明で、周知が不十分だったとご意見が出ました。また、少子高齢化を理由とした安易な施設廃止に反対する声もあり、高齢者等へ配慮した多様な手段での情報周知が求められました。

総括として、市民が主体的に意見を表明する場の確保が確認され、市には高齢化に対応した利用しやすいサービスの維持と対話による精査が求められました。今回いただいた意見は議会活動に反映してまいります。ありがとうございました。

文教厚生委員会

今回は、「孤立を生まない地域づくり」をテーマに、あえて副題を設けず、市民の皆様から地域の現状や課題について幅広くご意見を伺いました。意見交換会では、自治会等の担い手不足や高齢化による地域活動の縮小が大きな課題として挙げられ、地域コミュニティをどのように維持、活性化し、次世代につなげていくのかについて、多くのご意見やご提案をいただきました。また、自治会、町内会活動への参加促進や、行政と地域が連携した新たな仕組みづくり、行政による支援の必要性についても意見が交わされました。

さらに、公民館や市民センターなど既存施設を活用した居場所づくりや、子ども食堂など多世代交流の場の充実、高齢者の見守り活動や防災活動を通じた地域のつながりづくりなど、孤立を防ぐための様々な取り組みについても貴重なご提案をいただきました。

今回の意見交換を通じて、孤立を防ぐためには、地域コミュニティの基盤となる自治会や町内会の活動を支えながら、市民、地域団体、事業者及び行政が連携し、多様な世代が交流し、支え合える環境づくりを進めていくことの重要性を改めて認識しました。市民の皆様からいただいた貴重な意見を踏まえ、孤立を生まない、誰でも安心して暮らし続けられる地域づくりに向け、今後の委員会活動や政策提言に活かしてまいります。ありがとうございました。



経済建設委員会

今回は、「未来につながるまちづくり」をテーマに、市民の皆様との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、国府宮駅周辺の再整備やJR稲沢駅東西自由通路、祖父江・平和地区など西部地域のまちづくり、市街化調整区域の活用や企業誘致、一宮西港道路やインターチェンジ構想など、将来の稲沢市の発展に関わる幅広いテーマについてご意見をいただきました。

また、道の駅や市役所周辺の活用、防災対策、公共交通、公園や観光資源の活用、イベントによるにぎわい創出、中日ドラゴンズ二軍施設誘致など、多くのご提案をいただきました。

今回の意見交換を通じて、未来につながるまちづくりを進めるためには、都市基盤整備だけでなく、地域の魅力向上や活性化を図りながら、市民・事業者・行政が連携して取り組むことの重要性を改めて認識いたしました。

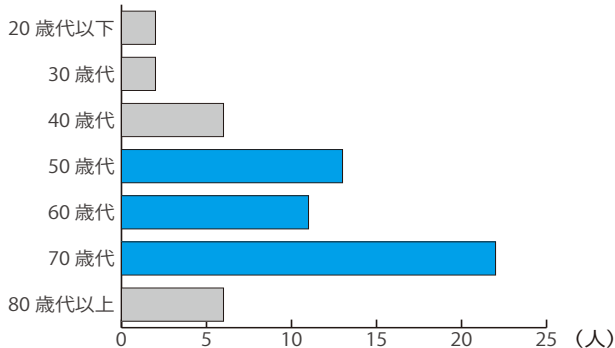
市民の皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえ、未来につながる持続可能なまちづくりの実現に向けて、今後の委員会活動や政策提言に活かしてまいります。ありがとうございました。



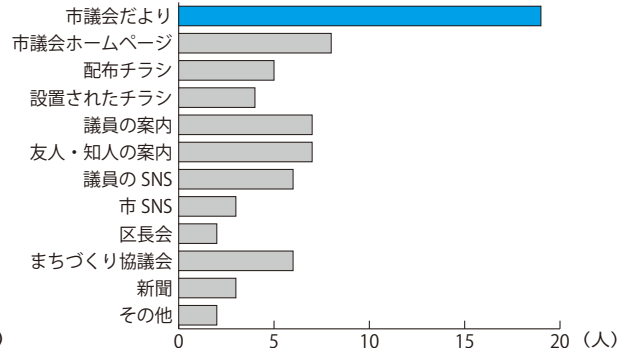
アンケート集計結果

参加者数：63人
回答者数：62人

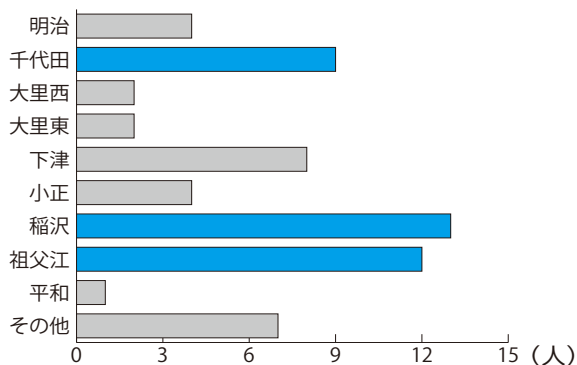
年齢



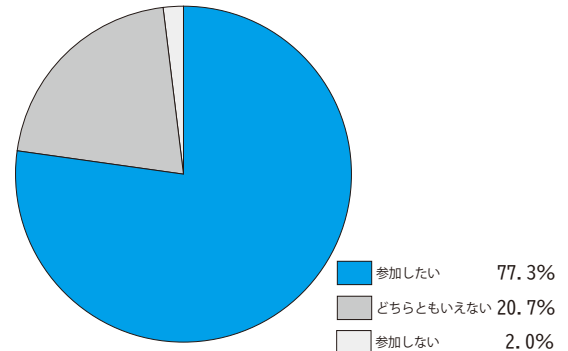
参加のきっかけ



住まい



次回参加



今回のアンケート回収率は**98%**と高い回答率でした。
アンケートの回答にご協力ありがとうございました！
いただいたご意見と、アンケート内容は今後の市議会の活動に反映させていただきます。



広報広聴委員長あいさつ

第10回稲沢市議会報告会におきましては、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。今回は「議会をより身近に感じていただくこと」と「最新の議場システムを体感していただくこと」を目的に、初めて議場内で開催いたしました。報告会終了後には議場の見学会も行い、有意義な時間となりました。

参加者のアンケート結果では、77%の方から「次回も参加したい」との回答をいただき、概ね皆様に満足いただけたものと受け止めております。一方で、第2部の意見交換会におきましては、参加者の方が十分に発言できない委員会があるなど、運営上の課題も浮き彫りとなりました。

今回、皆様からいただきました貴重なご意見やご要望につきましては、今後の市政及び議会に反映してまいります。

議会報告会の趣旨であります「議会活動の広報」と「市民の皆様の意思の集約」を実現するため、次回以降、より充実した議会報告会となるよう改善を図ってまいります。今後とも、市民の皆様に関われた「稲沢市議会」を目指し、広報広聴活動を充実してまいります。

皆様には、広報広聴委員会への活動にご理解、ご協力をいただきますように宜しくお願い申し上げます。



会議結果の報告

4月臨時会では、市長提出議案が2件、6月定例会では、市長提出議案が16件提出されました。議決結果は7ページを、賛否表については8ページをご覧ください。

ここでは一般会計補正予算の主なものを紹介します。

※万円未満切り捨て

令和8年6月定例会

6月12日～30日

議案第65号 令和8年度稲沢市一般会計補正予算(第1号) … 補正額 2億3,032万円

議案第68号 令和8年度稲沢市一般会計補正予算(第2号) … 補正額 1,340万円

(これにより一般会計予算の総額は、582億4,372万円となりました)

稲沢北児童クラブの整備に係る経費の計上…4,305万円

放課後児童クラブ利用者の増加に伴い、稲沢北小学校敷地内にある既存児童クラブ室に隣接した新たな児童クラブ室の増築と、保護者による送迎車両の混雑を解消するため駐車場拡張工事を実施。

〈補正予算額〉

- ・工事費……………4,200万円(R8、R9継続費)
- ・管理料……………90万円(R8、R9継続費)
- ・負担金……………15万円

絵画購入費の計上…2,100万円

荻須没後40年という節目を記念して、荻須高德の自信作として知られる絵画《コタン小路》を購入。

アジア競技大会観戦招待事業に係る経費の計上…61万円

2026年愛知・名古屋アジア競技大会のハンドボール競技が、9月20日(日)から29日(火)まで、エントリオを会場に開催されることから大会を市で盛り上げるため、9月23日(水・祝)を「稲沢DAY」と定め、市民120組240名を無料招待。(※応募者多数の場合は抽選)

応募期間：令和8年8月1日(土)～8月17日(月)

チケット配布：9月初旬



いなPAY商品券の追加発行に係る経費の計上…1,340万円

物価高騰の影響を受けている生活者等の支援強化として、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、いなPAY商品券を追加で発行。

4月臨時会・6月定例会 議決結果

4月臨時会

議案番号	件名	議決結果
議案第51号	稲沢市税条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第52号	稲沢市都市計画税条例の一部を改正する条例について	全会一致可決

6月定例会

議案番号	件名	議決結果
議案第53号	稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決
議案第54号	稲沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決
議案第55号	稲沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決
議案第56号	稲沢市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第57号	稲沢市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第58号	稲沢市公共下水道事業の設置等に関する条例及び稲沢市集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第59号	損害賠償の額を定めることについて	全会一致可決
議案第60号	電話交換機の物品供給契約の締結について	全会一致可決

議案番号	件名	議決結果
議案第61号	高御堂中央保育園改修工事の請負契約の締結について	全会一致可決
議案第62号	赤池調整池整備工事の請負契約の変更について	全会一致可決
議案第63号	災害用トイレカーの物品供給契約の締結について	全会一致可決
議案第64号	大里東小学校児童用机・椅子ほかの物品供給契約の締結について	全会一致可決
議案第65号	令和8年度稲沢市一般会計補正予算（第1号）	賛成多数可決
議案第66号	令和8年度稲沢市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致可決
議案第67号	令和8年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全会一致可決
議案第68号	令和8年度稲沢市一般会計補正予算（第2号）	賛成多数可決

報告第2号	専決処分の報告について	—
報告第3号	令和7年度稲沢市一般会計継続費繰越計算書の報告について	—
報告第4号	令和7年度稲沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告第5号	令和7年度稲沢市一般会計事故繰越繰越計算書の報告について	—
報告第6号	令和7年度稲沢市水道事業会計継続費繰越計算書の報告について	—
報告第7号	令和7年度稲沢市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—

報告第8号	令和7年度稲沢市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
報告第9号	令和7年度稲沢市土地開発公社決算の報告について	—
報告第10号	令和8年度稲沢市土地開発公社資金計画及び予算の報告について	—
報告第11号	令和7年度一般財団法人稲沢市文化振興財団事業報告及び収支決算の報告について	—
報告第12号	令和8年度一般財団法人稲沢市文化振興財団事業計画及び収支予算の報告について	—

請願第1号	「消費税率一律5%減税を求める意見書」を国に送付するよう求める請願	賛成少数不採択
-------	-----------------------------------	---------

賛否が分かれた議案

	創生会												市民クラブ				公明党 稲沢 市議団	日本共産党 稲沢 市議団	会派に 属さない議員					
議案番号	大野 紀之	鵜野 大助	土岐 優子	平床 健一	平野 賀洋子	杉山 太希	北村 太郎	黒田 哲生	近藤 治夫	津田 敏樹	服部 礼美香	吉川 隆之	六鹿 順二	鈴木 純子	岡野 次男	志智 央	木全 信明	星野 俊次	日比野 貴子	朽本 敏子	服部 俊夫	曾我部 博隆	小柳 彩子	平野 泰弘
議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	●	●	○	○
議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	●	●	○	○
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	●	●	○	○
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	●	●	○	○
議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	●	●	○	○
請願第1号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	○	○	●	●

※木全信明議員は議長のため採決に加わりません

(○は賛成、●は反対)

Q…… 議員の質問
& A…… 市の答弁

質疑・一般質問 Q & A

市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、12人の議員が質疑・一般質問を行いました。

ここではその質問と答弁の一部を掲載しております。

なお、すべての質問については、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧ください。

12議員が登壇

①志智 央	議員	②黒田哲生	議員
③日比野貴子	議員	④杉山太希	議員
⑤鵜野大助	議員	⑥曾我部博隆	議員
⑦小柳彩子	議員	⑧近藤治夫	議員
⑨朽本敏子	議員	⑩服部俊夫	議員
⑪平野泰弘	議員	⑫岡野次男	議員

※発言順



夏休み期間中の体育館 解放事業について

市民クラブ
しち おう
志智 央 議員



Q 令和7年度の熱中症対応件数は558件、令和8年度は6月9日時点で64件もあり、外遊びそのものが難しい日も増えてきた。市内の中学校の体育館のエアコンが昨年整備され、今年度からは小学校の体育館のエアコン整備の準備が始まる。夏休みの日中、部活動でも学校の体育館を使用しない日に子どもの遊び場として無料開放することはできないか。全国的にも事例が少なく先進的な取り組みになると思うがどうか。

A 学校の屋内運動場の開放については、夏休み期間中の子どもたちの活動場所の一つとしての選択肢が増えることとなり、保護者に

とっても望ましいことであるにとらえているが、子どもの安全を確保するための人や予算が必要となり、市内9中学校の屋内運動場を開放するのは負担が大きい。まずは、場所や開放日を限定したうえで実施できないか、先進的な運営事例を参考に検討していく。



写真:平和中学校



地域公共交通の 利便性向上について

創生会
くろだ てつお
黒田 哲生 議員



Q 鉄道やバス路線の近くにお住まいの市民と、そうでない地域にお住まいの市民では、日常生活の移動において、大きな利便性の格差が存在していると考えられる。実質的に移動に不便を感じる地域の存在について、市はどのように認識しているのか。

A 地域間の利便性の格差に関する意見について、地域公共交通会議において議論し、利便性の向上を図る。

Q 今後、人口減少や少子高齢化、運転手不足などにより、地域公共交通を取り巻く環境は一層厳しくなることが予想される。また、市民

の移動ニーズも多様化し、地域によっては交通空白地域への対応も必要となる。そこで、本市としても多様な交通施策や国・県の支援制度を積極的に活用し、将来ビジョンを作成し、地域公共交通計画の策定を進めるべきと考えるが市の見解は。

A 地域公共交通計画は、地域にとって望ましい地域公共交通の姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たすものと認識している。戦略的なまちづくりを進める上で重要な施策として、適切に調査・研究を進める。また、計画策定にあたっては、関係部局と十分に協議しながら対応していく。





産後家庭を支える体制について

公明党稲沢市議団
ひびの たかこ
日比野 貴子 議員



Q 出産は、妊産婦の身体と心に大きな負担を伴い、産後は本来、休息と支えが必要な時期である。本市の産後支援を進める中で、課題は何だと考えるか。

A 核家族化や地域のつながりの希薄化により、妊産婦を取り巻く環境や価値観が多様化する中、本市では環境変化に応じたきめ細かな産後支援が求められている。特に支援を拒む方や不安を表に出さない方には個別の対応方法を検討し、適切な支援につなげることが重要である。今後も関係機関や地域と連携し、産後支援の充実に取り組んでいく。

Q 行政の支援メニューだけでなく、地域で活動する支援人材や民間の支援者の方々と行政が連携し、産後家庭が孤立しない体制をつくるのが重要だと考えるが、本市の考えは。

A 産後家庭の孤立を防ぐには、地域の支援人材と行政の連携が重要である。本市では主任児童委員による産前のプレママ訪問、産後の助産師訪問、地域の医療機関からの情報提供などを通じて妊産婦の状況を把握し、利用可能な支援制度へ確実につながるよう、地域関係者と関わりながら進めている。今後も継続的な情報発信と相談支援を進め、地域全体で産後家庭を支える体制づくりに努めていく。



生成A Iについて

創生会
すぎやま たいき
杉山 太希 議員

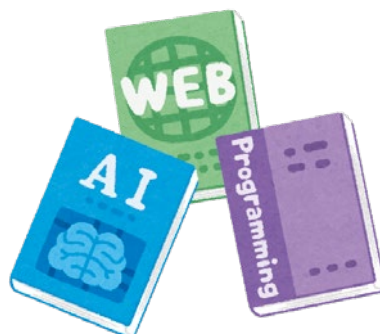


Q 本市での生成A Iの導入状況は。

A 令和2年度から市ホームページ内の問い合わせに対応するチャットボットを導入し、令和8年5月からは、生成A Iを活用して回答ができる仕組みに変更している。また、令和4年度から音声認識による会議録作成の支援業務を行っているが、令和7年度よりA Iを本格導入し、音声認識精度及び会議録作成精度が大幅に向上した。さらに「稲沢市DX推進計画」に基づき令和8年4月より行政事務に特化した生成A Iツール「コモンズA I」を導入し、行政文書作成の支援や文章の要約作業などに活用している。

Q 市の生成A Iに対する認識と今後の運用方針は。

A 生成A Iは、職員数の減少が見込まれる中、限られた人員で行政サービスを安定的・継続的に提供していくための有効な手段の一つとして認識している。「稲沢市DX推進計画」においても、職員の事務負担を軽減し、業務効率化に資するものと考えており、A Iを今後も積極的に活用していく。一方で、A Iの活用にあたっては、情報漏えいや生成結果の正確性の確認などに十分留意する必要があるため、職員研修などを通じて利用ルールの周知徹底に努めていく。





人口減少社会における 本市の将来像について

創生会
うの だいすけ
鵜野 大助 議員



Q 人口減少や少子化が想定以上のスピードで進む中、本市は今後の人口減少をどの程度見込んでいるか。

A 本市の人口は、令和7年国勢調査の人口速報集計結果によると、令和7年10月1日時点で、12万9,885人となり、前回調査から4,886人減少した。また、人口動態推計では出生数も全国的に過去最少を更新している。こうした状況から、本市においても人口減少は今後も従来の想定よりも早く進む可能性があると考えている。

Q 人口減少社会を迎える中、本市はどのようなまちづくりを目指していくのか。

A 人口減少を緩やかにするため、子育て・教育支援や移住定住施策を引き続き推進するとともに、国府宮駅周辺再整備などを進めていく。一方で、人口減少は避けることのできない現実として受け止め、人口規模の縮小を前提とした持続可能な行政運営のあり方の見直しなどを含めて検討していく。市民満足度や幸福度の向上につながるまちづくりを目指していく。



高すぎる国民健康 保険税について

日本共産党稲沢市議団
そがべ ひろたか
曾我部 博隆 議員



Q 子ども・子育て支援納付金は国民健康保険税（以下国保税）に上乗せして集められる。40歳以上65歳未満の夫婦と子ども2人（18歳未満）の4人世帯で、世帯収入が世帯主の給与のみの場合は、国保税負担はどうなるか。

A 年収400万円の場合の子ども・子育て支援納付金分の保険税額は1万100円で、年収に占める負担割合は0.25%である。年収2,000万円の場合、上限額の3万円となり、0.15%となる。

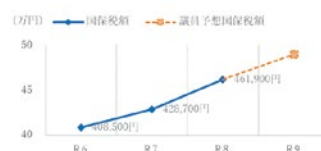
Q 医療保険について、愛知県統一保険料率になっても一般会計から繰り入れはできるか。

A 保険料水準が統一化されると、一般会計からの法定外繰り入れは認められない見込みである。

Q 医療費指数反映係数 α は令和11年度にゼロになる予定である。国保税率引き上げに繋がるのではないか。

A 本市における医療費指数は、愛知県の平均よりやや高いため、納付金額はやや低くなる傾向にあるが、納付金の算定には医療費指数の他に、被保険者数や所得総額等も関係しているため、保険税額の増減は状況により異なる。しかしながら、標準保険料率よりも税率・税額が低い本市では、標準保険料率に近づける継続的な努力が必要である。

年収400万円の4人家族の場合の国保税額
（子ども2人は18歳未満）



曾我部議員作成



多文化共生社会を目指すということについて

こやなぎ さやこ
小柳 彩子 議員



Q 本市では多文化共生社会を稲沢市総合計画の中で掲げている。多文化共生社会の定義は何か。

A 多文化共生社会とは、国籍や民族、文化、言語、生活習慣などの違いを持つ人々が、お互いの違いを認め合い、尊重しながら、地域社会の一員として対等な関係を築き、ともに安心して暮らしていく社会であると考えている。

Q 他市で、外国人住居率の増加が一つの原因で、自治会が解散してしまうという事例が新聞にも取り上げられていた。本市において外国人の住居率に偏りは見られるか。

A 本市における外国人の住居率は、6月1日時点の概算で、3.5%である。また、外国人住居率の割合が比較的高い地区は、大里東地区の5.5%、千代田地区の4.3%である。

Q 外国人が増えすぎた地域では、日本人が住みづらくなり、転出し、そこに外国人が入り、日本人が減少するという事例がある。本市では外国人の集住を抑制する仕組みはあるか。

A 外国人の方が転入・転居される場合についても、日本人と同様、住民基本台帳法に従って、届出をしていただいております。外国人の集住を抑制する仕組みはない。



自治会組織の運営と今後の地域づくりのあり方について

創生会
こんどう はるお
近藤 治夫 議員



Q まちづくり推進協議会の構成と、地域運営組織(RMO)の設立についてどう考えているか。

A まちづくり推進協議会の構成については、区長、老人クラブ、PTAなど各種団体の代表者、民生委員・児童委員、学校関係者など幅広い分野の方々に参画いただいている。行政区が身近な自治活動を担う一方、まちづくり推進協議会は各種団体が横断的に連携し、地域全体の課題を共有する場として両者が補完し合っている。まちづくり推進協議会では地域の実情に合った事業を展開しているので、地域運営組織と同様と言えると考えている。

Q 地域運営組織が地域課題に主体的に取り組むため、市はどのような支援が可能か。

A 地域運営組織を新たに設置するのでなく、既存のまちづくり推進協議会の活動をさらに活性化し、必要な機能を高める視点が重要と考える。まちづくりに関する条例、補助金・交付金制度、行政との協働の仕組みなどを含め、本市にふさわしい地域づくりの仕組みについて調査研究していく。

Q まちづくり推進協議会や行政区への補助金を一本化する考えはあるか。

A 一本化には申請手続きの簡素化や柔軟な予算活用のメリットがある一方、目的、所管部署が異なるため課題もある。補助金の役割を整理し、地域のご意見も伺いながら関係部署と情報共有をしていく。





マイナ救急と命の バトンについて

公明党稲沢市議団
とちもと しこ
朽本 敏子 議員



Q 本市は令和8年3月まで「マイナ救急」の実証事業が行われたがマイナ救急とは何か。

A 救急現場において、救急隊員がマイナンバーカードをカードリーダーで読み取り、受診歴、処方薬などの医療情報を現場で確認できるシステムである。

Q 実証事業の成果や課題は。

A 救急隊アンケート調査から、「搬送先医療機関の選定」「医療機関への引き継ぎ」「傷病者の説明負担軽減」等に効果があり、特に情報の正確性の裏付けに有用性を感じている。また、最重要課題はマイナ保険証の取得促進と

携行促進の両方である。

Q 救急要請の際、マイナンバーカードの準備を伝えているか、また持っていない方への対応は。

A 119番通報を受けたら、通報者にマイナ保険証の準備を依頼している。お持ちでない方等には、従来通り口頭で症状、病歴、服薬情報などをお伝えいただいている。

Q 社会福祉協議会で取り扱っている「命のバトン」の中には緊急連絡先や持病、薬など記入したカードを保管するが、内容を最新情報に書き換えることへの周知方法は。

A 民生委員と連携しながら情報更新の必要性を伝えるとともに、地域包括支援センターでの相談時にもご案内する等、社会福祉協議会と協力して取り組む。



写真:命のバトン



公営公設の稲沢市民病院 のあり方について

日本共産党稲沢市議団
はっとり としお
服部 俊夫 議員



Q 病院職員アンケートで、現在の業務に対してやりがいを感じるかどうかの問いに「非常に感じる」「やや感じる」の合計が58.8%であるが、どんなことが考えられるか。

A 自由記述欄を設けていないため、一般論になるが、豊富な経験を積んだ50代、60代のベテラン層がこれまでの知識・経験・専門性を活かして市民の命と健康を守る現場で力を発揮できていることが、高いやりがいに繋がっているものと推察される。また、市民病院の優れている点として「地域との繋がり」や「急性期から在宅医療まで繋げられる病床機能」等を挙げる声もある。

Q 市民病院の強みについての設問で多かったのが、「24時間体制の救急受け入れ(断らない救急)」59.3%、「訪問看護、ナースカーなどきめ細やかな対応」55.8%と全職員の半数以上が答えている。市民病院の強みを活かした医療の提供が必要であるが、あり方検討委員会でも、こうした点を考慮した議論が必要ではないか。

A これらの取り組みが市民病院の強みとなっていることは認識しており、あり方検討委員会資料において一貫して示してきた。あり方検討委員会における議論の目的は、こうした現場の努力で培った市民病院の強みを後退させることなく、将来にわたって持続可能なものとして守り抜くことである。





学校施設整備基本計画について

ひらの やすひろ
平野 泰弘 議員



Q 学校が地域コミュニティの中心であることを踏まえ、地域基盤の維持や地域活力の確保についてどのように考えているのか。

A 教育環境を整備するとともに、避難所機能やまちづくり活動の拠点としての機能の確保などについても、地域や関係部署と連携しながら取り組んでいく。

Q 計画では、徒歩通学距離は、2.5 kmとあるが、それは基準ではなく改善すべき重要な課題ではないのか。スクールバス導入や、小学校5・6年生の自転車通学についても検討すべきと考えるが、見解は。

A 通学距離について、実距離で概ね2.5 kmを目安とし、基準を超える場合は、スクールバス導入など通学支援策を講じる。5・6年生の自転車通学は現時点では慎重に考えるべき課題である。

Q 統廃合後の廃校施設について、地区防災センターとしての活用や、雨天にも子どもたちや高齢者が利用できる施設として整備する考えはあるか。

A 屋内運動場は、避難所としての活用に加え、子どもから高齢者までが集う地域の活動拠点として活用していくことも一つの選択肢である。



実証実験の成果活用と将来的な事業展開について

市民クラブ
おかの つぎお
岡野 次男 議員



Q 令和7年度、本市は国土交通省のワンコイン浸水センサ（注）の実証実験に参加した。このセンサは24時間反応するが、夜間等に反応した場合の対応と事業費は。

A 本市が採用したセンサは、浸水検知情報が時間、曜日にかかわらず担当者へ通知されるので、受信した際は、現地を確認し、通行止め等の災害対応を実施する。事業費は通信料・システム利用料が24台で年額約16万円だが、定期的に機器の交換が必要で、センサ1台当たりシステム更新手数料含め約2万円の見込みである。

Q 令和7年度、ごみの持ち込み等の電話問合せに対するAI自動音声回答の実証実験を行ったが、その結果と事業費は。

A 期間中にAIが受け付けた電話955件中、AIのみで完結した通話は838件、完結率87.7%であった。また、利用者アンケートで84%の方から好意的な評価をいただいた。事業費は、初期費用132万円、運用費年額264万円の見込みである。

Q 令和8年度に電力データを用いたフレイル予防の実証実験を行うが、目的と事業費は。

A 電力使用量の分析により生活変化を早期に検知し、要介護状態への進行抑制を目的とする。分析結果をもとに利用者の生活状況を確認し、地域包括支援センター職員が、フレイル予防の助言や支援を行う。事業費は年額400万円の見込みである。



R8.6.3大雨時のセンサ状況
（注）ワンコインとは、形状、価格、共にワンコイン程度を目指すという意味

稲沢市議会議員表彰報告

5月27日に東京都で開催されました全国市議会議長会定期総会及び4月23日に静岡市で開催されました東海市議会議長会定期総会において、議員15年として、吉川隆之議員が、また、議員10年として津田敏樹議員、服部礼美香議員、志智央議員が表彰規定に基づき表彰されました。

議員15年



吉川隆之議員

議員10年



津田敏樹議員



服部礼美香議員



志智央議員

視察受け入れ実績について

令和7年度に11市より行政視察の受け入れをし、稲沢市の行政について説明を行いました。中には、この議会だよりの編集についての視察もありました。

令和7年

5月21日	富山県射水市	ふれあい収集について
7月29日	石川県白山市	シティプロモーションについて
8月 4日	大分県豊後大野市	インクルーシブ保育の取組について
8月 6日	福岡県筑紫野市	議会だよりの編集について
10月 8日	群馬県安中市	シティプロモーションについて
10月 9日	東京都多摩市	重層的支援体制の整備について
10月17日	神奈川県大和市	オンラインによる立地相談について
11月 6日	石川県津幡町	市民病院について

令和8年

1月22日	山形県天童市	全庁的なDX推進体制とデジタル人材育成戦略について
1月27日	愛知県豊明市	議場の音響設備等について
2月 5日	長崎県諫早市	狭い市道の解消促進の取組について

市議会を傍聴いただけます

本会議の場合

- ・ 会議当日市役所
4階の受付で
氏名を記入
- ・ 定員50人
(先着順)

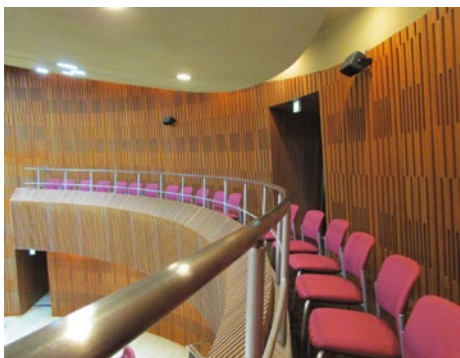
委員会・議員総会の場合

- ・ 会議当日市役所
3階の受付で
氏名を記入
- ・ 定員3人程度
(先着順)

車いすの方や聴覚に障害のある方が
傍聴できる体制も整えておりますので、
お気軽にお越しください。(要事前連絡)
その他傍聴に関する詳細については
市議会ホームページをご覧ください。



※稲沢市議会
ホームページ



議会のライブ配信も ご覧いただけます

上記傍聴のほか、本会議の映像をYouTube
にてライブ配信します。下記の二次元コード
を読み取っていただくと、稲沢市議会公式チャ
ンネルへ移動します。

ご視聴に際しては、市議会ホームページの
議会ライブ配信(本会議)に記載のある注意(免
責)事項をお読みいただき、ご理解くださいま
すようお願いいたします。

なお、一定期間アーカイブ配信を行ってい
ますが、編集映像が出来上がり次第、アーカイ
ブは削除し、市議会ホームページに録画映像
を掲載します。次回のライブ配信については、
右記の日程で行いますので、是非ご覧ください。

また、過去の録画映像につつま
しては、引き続き、市議会ホーム
ページからご覧いただけます。



※稲沢市議会公式
チャンネル

次回の定例会は 9月3日(木)開会

質疑・一般質問

- ・ 9月 8日(火)
- ・ 9月 9日(水)
- ・ 9月10日(木)
- ・ 9月11日(金)(予備日)

常任委員会

- ・ 9月14日(月) 総務委員会
- ・ 9月15日(火) 文教厚生委員会
- ・ 9月16日(水) 経済建設委員会

閉 会

- ・ 9月30日(水)

※各日とも午前9時30分から開会し
ます。日程の詳細は市議会ホームペー
ジに掲載しております。傍聴もできま
すので、お気軽にお越しください。
審議の妨げとならないように、携帯電
話の電源を切り、お静かに傍聴してい
ただきますようお願いいたします。
なお、日程は変更する場合があります
ので、議会事務局までお問合せくださ
い。

次回の議会だよりは令和8年11月
発行予定です。

発行／稲沢市議会
編集／広報広聴委員会
〒492-8269 稲沢市稲府町1
TEL 0587-32-1459
FAX 0587-32-1124



※お問い合わせ
フォーム

※本誌は全ページUDフォントを使用しています。

